

中学校社会科授業実践例

立場や根拠を明確にして議論する授業の実践

小単元名 公正な裁判の保障(全4時間) (公民的分野 内容のまとめりC(2)民主政治と政治参加 第3次)

小単元の課題 裁判において公正に判断する上で大切なことはどのようなことだろうか

社会科の学習過程のイメージ	学習活動	評価規準
課題把握 動機付け 方向付け	・模擬裁判の導入を通して、司法や裁判に関する興味・関心を高め、小単元の課題を設定した後、学習の見通しをもつ。	・模擬裁判の導入をふまえ、公正な裁判の在り方について、自分の考えを書いている。また、学習の見通しをもつことができている。(主学態)
課題追究 情報収集 考察・構想	・裁判の種類や仕組みを調べ、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目し、司法の意味を考察し、公正な司法の重要性について理解する。	・三審制の意味を理解している。(知・技) ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目し、人権の保障と裁判の仕組みの関係を見だしている。(思・判・表)
課題解決 まとめ	・裁判員制度の意義について、模擬裁判で思考・判断したことを議論したり、多面的・多角的に考察したりする。	・裁判員制度の意義について、立場や根拠を明確にして議論したり、裁判官、裁判員などの視点から考察したりしている。(思・判・表)
新たな課題 振り返り	・小単元の学習を通して学んだことを振り返るとともに、単元(内容のまとめり)全体を見通した学習課題との関りを確認する。	・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。(知・技)(主学態)

裁判員制度の意義について、思考・判断したことを説明したり議論したりし、考察を深める活動

浦島太郎に殺傷能力の高い煙が詰まった玉手箱を渡した乙姫を、罪に問い懲役とするべきか、執行猶予にするべきか (NHK「昔話法廷」より)



模擬裁判で有罪/無罪、量刑についてグループで議論する

人に危害を加えるのはどんな理由があってもだめだから、刑法に基づいて殺人未遂で懲役とするべきだと思う。

浦島太郎にも悪いところがあり、乙姫は辛かったと思う。乙姫には同情の余地があるんじゃないかな。

乙姫は浦島が帰る前に「開けないで」と言い、思いどまろうとした上に反省しているので執行猶予にするべき。

乙姫の判決は？ 乙姫の判決は？



グループでの議論を全体交流する

今回の交流のねらいは、合意形成ではなく、生徒の思考を広げたり、深めたりすることやそれらを基に議論する力を養うことです。グループごとの意見は左の図に示すようにし、全体交流の際には、裁判員としての立場を明確にし、根拠を持って説明・議論することを意識付けさせました。

裁判員制度の意義について考える



生徒のまとめ例：裁判官や検察官、弁護人は法に則った裁判をすることができるけど、模擬裁判での議論を通して、裁判員制度があることで、被告人や被害者と同じ国民の視点や感覚が、裁判に反映されると思いました。

生徒同士が異なる立場で根拠を明確にして議論することで、自分や友だちの考え方を発展させるとともに、多面的・多角的な考察につながり、公正な裁判についての理解が深まっています。